

# 令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和6年2月7日(土)

学校法人清麗学園 原山幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ①たくましい活動力とそれを成し得る健全な心身を持つ子ども
- ②自分で考え、感じ、生き生きと自主的に行動することのできる子ども
- ③社会生活の正しい習慣が身についた子ども
- ④豊かな情操と共に、創造性のある表現ができる子ども

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・仏教的慈愛の精神に基づくカリキュラムを見直し、御仏の教え(本年度は「やさしさ」)を徹底していく。
- ・教職員においても「やさしさ」をテーマに研修を実施し、保育の見直しを図る。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

	評価項目	評価	取り組み状況
1	仏教教育の徹底	A	12月の成道会を1つの目標に、毎月1回、集会を行う。「やさしい気持ち」をテーマに保育者が素話・パネルシアターなど毎回工夫して臨み、一貫して取り組めた。
2	園内研修の充実	B	当園が定める「指針」のほか、国や各種団体のガイドラインなどを教職員間で共通理解。「子ども中心のやさしい気持ち」を基本姿勢に、保育の振り返りを行った。
3	英語教育	B	別紙英語活動報告書のとおり、外国人や外国語に日常として触れさせ、子どもたちの、英単語の知識、異文化・異国の生活習慣への興味を広げることができた。

## 4. 総合的な評価結果

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

評価	理由
B	2つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、これまでの保育の総点検・総見直しができた。保育者の原点は「やさしさ」であることを再確認。日々の保育やカリキュラムの課題も明確になった。

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組む方法
1	幼稚園教育の意義を広く啓蒙する	幼稚園教育の大切さに共感くださる一流の有識者をお招きし、講演会・演奏会などを実施。園児親子に特別感ある経験を提供する。
2	2歳児教室の開設	メインキャンパスで、“2歳児に特化した教育的なカリキュラムで子どもたちがここまで変わる”という実績が積めたことから、R7年度、同様の教室を開設する。

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

子どもたちが目を輝かせ、生き生きと活動している。また、先生方も子どもたちと一緒に楽しそうに活動する様子が見られ、園全体が明るい雰囲気活気がある。行事においても、発表内容が素晴らしく、先生方の指導力の高さを感じる。

特に、英語教育では、ネイティブ講師と園児と一緒に英語の歌を歌ったりゲームをしたりなど楽しく英語に親しんでいる様子があった。英語イベントや教材開発も行い、非常にレベルが高い取り組みだと感心する。

